

kanamoto ■ カナモトエグザミネー
examiner
株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



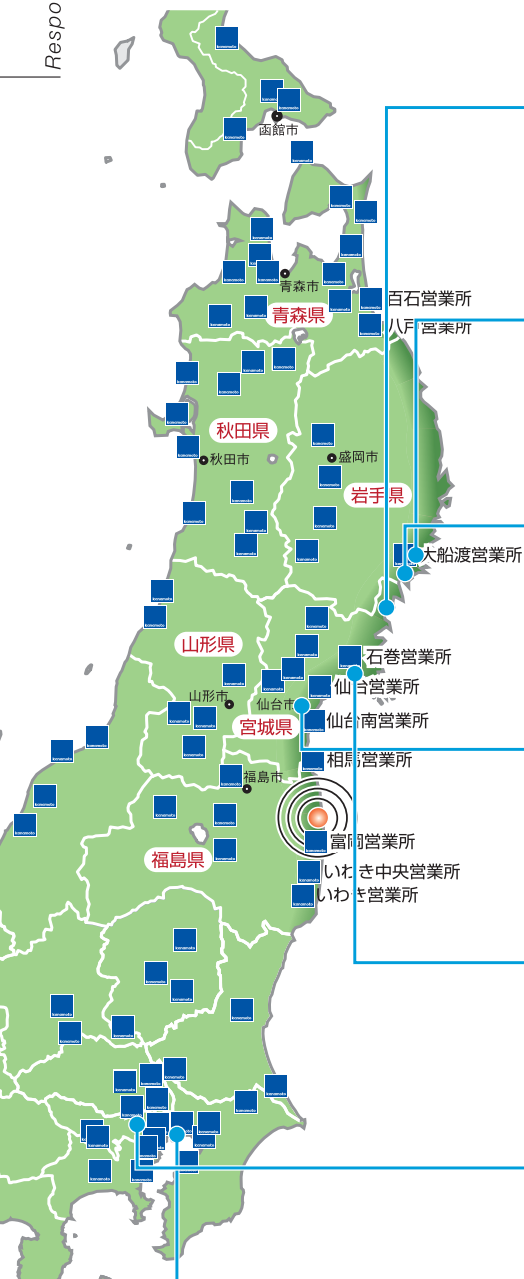
vol.56

第47期(2011年10月期)第2四半期号

フォトレポート

東日本大震災への対応

皆様から頂戴するご要望で圧倒的多数を占める「震災の様子をもっと知りたい」。復旧は進んでいるのか、そしてカナモトはどれだけ貢献できているのかという点でありましょう。某機関投資家からお聞かせいただいた建機メーカーの方の言葉を借りれば、現地では目を引くのはカナモトの建機ばかりとのこと。有り難いことです。現地スタッフにはその様子を撮影するように依頼していますが、皆、身を粉にして本業に明け暮れており、なかなかカメラを向け、写真に収められる状態ではないようです。僅かな合間に撮影した素人写真、画質があまり良いものではありませんが、現地の状況を少しでも皆様にお伝えできればと思います。☑



気仙沼



瓦礫撤去作業を行う当社油圧ショベル

大船渡



津波被害のあった沿岸部で復旧工事に使用される当社の油圧ショベルと散水車



陸前高田



撤去作業を行う当社建機と陸前高田市役所の仮庁舎として使用される仮設ユニットハウス(右)

仙台



復旧工事が急がれる工場や施設で、瓦礫を撤去・運搬する油圧ショベルとトラック

石巻



自衛隊の捜索活動(左)や地元小学校の復旧工事(中央)などに使用される当社油圧ショベル

東京



電力不足への対応

建設会社以外の企業・施設にも、可搬型発電機を供給しています。また、当社が代理店となっている米国キャプストーン社のコージェネ・マイクロガスタービン発電機や、LEDランプのお問い合わせも増加しています。

「東日本震災の対策について」を讀み、深い
感動を受けました。そして貴社の存在をあることと
誇りに思いました。東北復興に頑張る中、
こちらでも自らでできる事はしたいですね、
頑張ろうカナモト、頑張る東北、がんばる
日本!!

(山梨県 安藤様)

震災対策に感動しました
こちらからもいろいろがんばります!!

(岐阜県 伊藤様)

がんばれ 日本
がんばれ カナモト

(兵庫県 高田様)

頑張るカナモト!!
復旧復興 頑張り

(大阪府 重山様)

大震災への対応、多謝!!
引続きの東北への支援を
よろしくお願いします

(神奈川県 鈴木様)

東日本大震災対策本部の
皆さま、本当にありがとうございます

(青森県 中野様)

震災復興に頑張ってください。
今こそ「カナモト」パワーを!

(神奈川県 源本様)

東北復興に大いに
力を尽くして下さいます。

(北海道 木村様)

応援ありがとうございます。

毎号、たくさんのご意見ご要望を頂戴しありが
とうございます。皆様からの激励や叱責を
拝読するたびに、我らが日々の戒め、我らが誇
りといつも感謝しております。

特に、小誌前号のアンケートでは、いつも以上
に目頭が熱くなるコメントを頂戴し、役職員一
同、感謝、感謝、深謝であります。

社内回覧に止めるのはもったいないから、ほ
んの一部ですが掲載させていただきました。

皆様のコメントを掲載するにあたり、男性女
性といった一括りでご紹介するのは余りに礼
を欠くと思ひ、お住まいの都道府県名とご芳
名のうち名字を掲載させていただきました。

ご了承ください。kcc

相馬港の岸壁にある妻の会社が
津波の被害を受けました。
同地に仮設の事務所を構へ
復興に向け頑張っています。
カナモトさんの仮設トイレも借りて
います。ありがとうございます。

(福島県 渡部様)



陸上自衛隊駐屯地に並ぶ仮設ユニットハウス(左)、「ラーメン屋」として活躍するトレーラーハウス(中央2枚)、物資倉庫にも適したコンテナハウス(右)



浦安

液化化した鉄鋼団地付近の現場で、急ピッチで進められる復旧工事



カナモトの海外事業展開2

小誌53号に続き、当社取締役執行役員海外事業部長の棕梨直樹に当社の海外事業展開についてインタビューしました。



効果的な拠点展開を行い、中国の建機需要に対応

編集 東日本大震災の発生で大きく様相が変わったと思います。そこで改めて海外展開についてお聞きします。まず中国ですが、上海金和源は2011年末までに分公司(日本でいう支店)を10ヵ所新設の計画とお聞きしましたが、進捗状況はいかがですか？

棕梨 中国は地方分権が極めてはっきりしている国ですので、省ごとに制度が異なります。そのため、分公司新設の申請には周到な準備が必要です。中国側の母体となる米源集団とともに計画に沿って準備を進めてきたため、年内には開設できそうです。

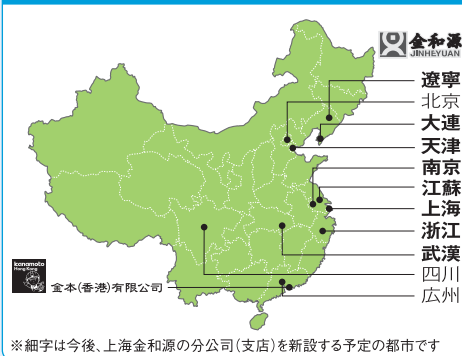
編集 今回の第2四半期決算は、当初計画した目標を達成されているものの、万博特需のあった前年同期と比較すると、かなり厳しい結果だったと思いますが…？

棕梨 今回、分公司を設置した先は、省都または各々の省の中でも規模の大きい都市です。これらの都市では地下鉄工事など大規模な公共工事が本格化しており、業績は回復するでしょう。

編集 中国経済の減速が指摘されていますが…？

棕梨 確かに、そのような分析が散見されますが、中国で主にレンタルしているのは地下鉄工事に使用される連壁マシンやシールド掘進機、そして高所作業用機械とユニットハウスです。貸出先は民間建築以外の公共事業です。そういった意味では心配は無用でしょう。

中国での事業展開(カナモトグループの営業網)



長期経営計画を推進し、海外事業を拡大

編集 ところで、香港とシンガポールは如何でしょうか？

棕梨 需要は旺盛です。当社が提案した機材が現場で活躍しています。ただ、両地域とも日本同様、レンタルが盛んな地域で、中国本土とはまた違った戦略が必要ですね。

編集 今回の震災の影響はありますか？

棕梨 震災復旧に全力を傾注すべき時ですので、建機についても被災地向けが優先されます。とはいえ、海外での営業基盤拡大も我々の命題の一つです。香港も必要最小限の建機を確保していますので、大きな影響はありません。

編集 戦略には変更がないと考えてよろしいですか？

棕梨 2014年10月期までの長期経営計画で定めている方針には何のブレもありません。将来のカナモトを描くための布石のひとつとして、巨大市場である中国、そして発展著しい東南アジア諸国を中心に海外事業の拡大を図っていただけです。計画最終年の売上高は当期に入ってから10億上乗せして60億円を目標に据えています。

編集 ありがとうございました。次回、お話をお聞きするのを楽しみにしております。CC

第47期第2四半期事業報告書

[平成22(2010)年11月1日から平成23(2011)年4月30日まで]

●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
47期第2四半期	35,309(△4.9)	1,724(△46.0)	1,408(△51.8)	49(△96.7)	1.50
47期第2四半期予想 (前回発表予想値)	35,080(△5.6)	1,940(△39.3)	1,580(△46.0)	750(△50.5)	22.84
(ご参考)					
46期第2四半期実績	37,142 (14.0)	3,195 (246.8)	2,924 (268.4)	1,515 (—)	46.15

●連結業績予想

47期通期予想	67,160(△4.3)	1,440(△45.6)	700(△66.4)	210(△79.8)	6.40
47期通期予想 (前回発表予想値)	67,160(△4.3)	1,440(△45.6)	700(△66.4)	210(△79.8)	6.40
(ご参考)					
46期通期実績	70,173 (9.9)	2,648 (—)	2,083 (—)	1,041 (—)	31.73

(注1)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、対前年同期増減比率(%)を示しております。

(注2)連結業績予想について、上段と中段に同じ数値が記載されているのは、7ページに記しましたとおり、昨年12月公表の予想数値を据え置いているためです。

(注3)「前回発表予想値」は、2010年12月8日に公表した予想数値です。

■セグメントの売上高および売上比率

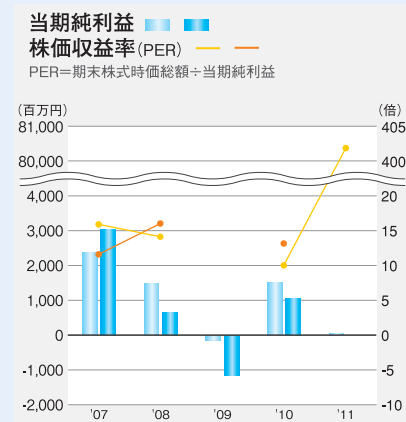
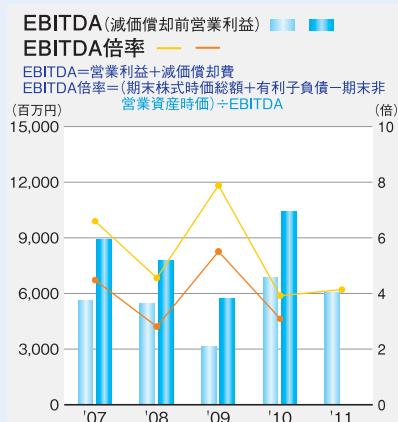
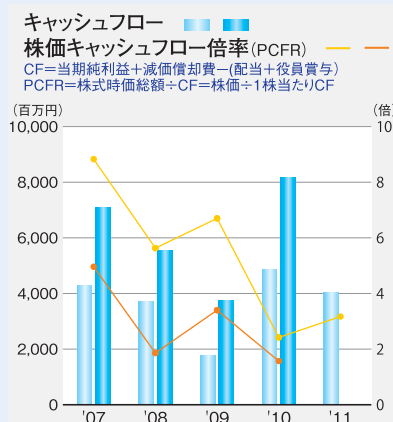


91.1% 建設関連事業 32,169百万円 (対前年同期比 7.2%減)

8.9% その他の事業 3,140百万円 (対前年同期比26.2%増)
(鉄鋼関連事業・情報通信関連事業など)

グラフで見る5年間(連結)

■ = 第2四半期累計 ■ = 期末 — = 第2四半期累計 — = 期末



09年10月期第2四半期累計期間のPERは、当該期間に純損失を計上したため、表示しておりません。

【経営環境】

当社グループの第2四半期の日本経済は、安定した海外景気動向と外需主導による大手企業の好業績から、消費刺激策や新たな景気浮揚策もない状況が続いたものの、地方経済に広がる閉塞感とは裏腹に、総じて楽観的な景況感が漂いました。

しかし、3月11日の東日本大震災の発生により、その様相も一変し、一気に緊迫感に包まれました。震災対応へのスピード感や情報の透明さが疑問視され、世界的に経済面の影響が懸念されるなど日本の将来に翳りを落とすこととなりました。

当社グループが属するサービス産業や建設業界にあっては、期初の予想のとおり経済対策効果剥落による地方経済の悪化が顕著でありました。また、震災後は、民間ベースでは相応の進展を見せたものの、官民一体となった復興方針、体制がなかなか整わず、震災復旧作業は遅々として進まないことから先行きの展望が見通せない状況が続きました。

【第2四半期の累計連結業績】

当社グループの業績と経営環境につきましては、6月1日付の業績予想の修正発表のとおり、国内建設投資の減少により、建機レンタルも激しい業者間競争が各地で広がり、収益確保に苦戦を強いられました。当社グループでは、グループ企業が一体となって提案型営業などを積極的に展開し、また、国交省の推進する情報化施工や新型省エネ機を増強するなど建機レンタル資産の構成の見直し・適正化を図り、収益を維持すべく努めました。

収入に関しては、当該期間半ばまでは建設需要の低迷から当初想定していたとおり減収基調で推移いたしました。

また、震災発生以降も、一部地区で災害の影響による建設工事の

中断があったこと、立ち入り禁止区域内の営業停止を余儀なくされたことなどが、直接的な減収要因となりました。また、一方で災害復旧の初期対応と電力不足対応による需要増などの増収要因もありました。

これら増収、減収要因が複雑に絡み合う経営環境の中、グループ内の事業分野や企業間の垣根を越えた協力体制を構築してきた効果も表われ、当社グループ全体のシェアを維持できたことと、レンタル需給改善に伴う価格は正も手伝って、売上高は当初予想を僅かに上回る353億9百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

一方、利益面は、震災対応を考慮して中古建機売却を一部順延したことによる収益減少の影響により、営業利益は17億24百万円（同46.0%減）、経常利益は14億8百万円（同51.8%減）となりました。また、純利益は、被災地域における営業所の建物や同地域で運用中のレンタル用資産（建機等）の一部が罹災、この罹災相当額を被災による損失として計上したことから、49百万円（同96.7%減）と大きく減少する結果となりました。

【セグメントの業績】

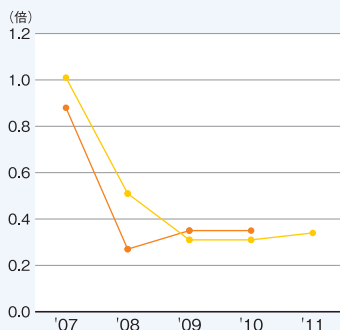
建設関連事業

国内の建機レンタルは、昨年来の工事量減少に伴い全国的に価格競争がこれまで以上に激化して消耗戦の様相を呈しました。同事業分野におけるレンタル売上高は前年同期比5.9%減となりました。地域別にみると、北海道地区は経済対策関連工事の終焉と地方経済の減速により官民ともに需要減少が著しい環境が続きましたが、圧倒的なシェアを維持することで第1四半期よりも持ち直し、前年同期比24.9%減となりました。一方、東北地区は大型

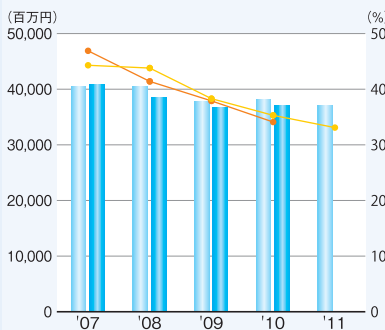
グラフで見る5年間（連結）

■ = 第2四半期累計 ■ = 期末 — = 第2四半期累計 — = 期末

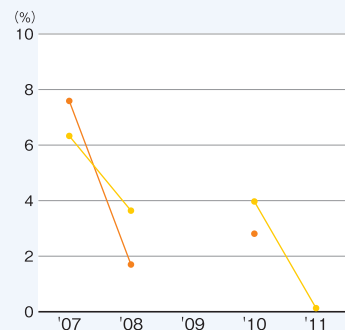
株価純資産倍率(PBR) — —
PBR=ROE×PER



純資産 ■ ■
自己資本比率 — —
自己資本比率=自己資本÷総資産



自己資本利益率(ROE) — —
ROE=当期純利益÷自己資本
=一株当たり当期純利益(EPS)÷一株当たり純資産(BPS)



09年10月期第2四半期累計期間のROEは、当該期間に純損失を計上したため、表示しておりません。

プロジェクト工事需要に復旧需要が加わり同7.7%増、関東地区は特殊建機が低迷したものの民需の回復と復旧需要・電源需要で伸長して同2.6%増、震災の影響がなかった近畿中部地区では民間設備投資に牽引され同5.4%増、九州沖縄地区はこれまでの官需に加えて新燃岳対策需要もあって同7.1%増となりました。

また、同事業分野における販売売上高は、復旧復興需要に対応すべく海外向け中古建機売却の一部を順延したことが影響し対前年同期比23.6%減となりました。

一方、海外につきましては、業績に占める割合は些少であります。上海金和源グループ(上海金和源設備租賃有限公司、上海金和源建設工程有限公司)は、上海以外にも天津、武漢、南京、寧波など着々と営業エリアを広げましたが、上海万博特需のあった前年実績との差が大きく、その減少を補えませんでした。

これらの結果、建設関連事業の当第2四半期連結累計期間の売

上高は321億69百万円、営業利益は16億17百万円となりました。

その他の事業

北海道で展開する鉄鋼関連事業については、鋼材市況は震災により不足感も手伝って、引き続き高止まりが続きましたが、道内需要は一服し、当第2四半期連結累計期間の売上高対前年同期比は29.3%増となりました。一方、情報通信関連事業はパソコンレンタルの新規開拓が奏功し同7.6%増となりました。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は31億40百万円、営業利益は14百万円となりました。

【特記すべき事業展開と拠点新設・閉鎖の状況】

当社の当第2四半期連結会計期間における国内拠点の新設・閉鎖は、新設0、閉鎖1で、詳細は以下のとおりです。

- 閉鎖：幕別機械センター(北海道中川郡幕別町)

東日本大震災の被災による損失額

当社グループで、東日本大震災の被災地区に展開していた拠点のうち主2拠点が罹災、また、同地区に投下していた当社レンタル用建設機械の一部も罹災いたしました。

これら被災による資産減失額、原状回復費用、復旧支援費用等として、平成23年10月期第2四半期決算で7億24百万円を、特別損失に計上することいたしました。

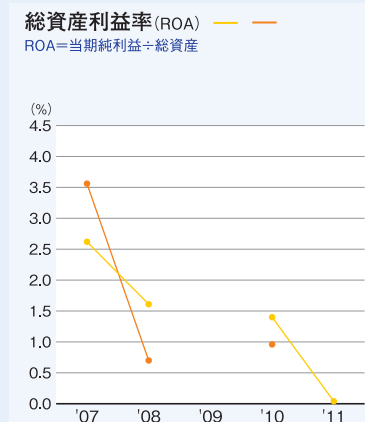
なお、当社を除く他の連結子会社は罹災しておりませんので、連結、個別それぞれ同額を計上することとなります。

今後の見通し、通期業績予想、配当について

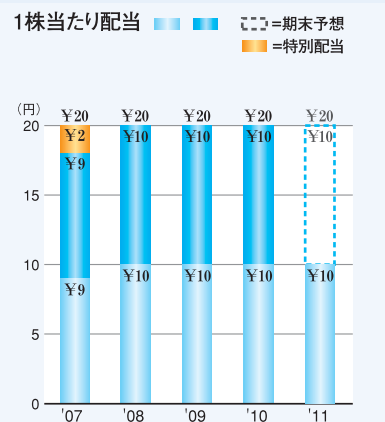
前述のレンタル用建機の被害額は現段階で把握できる、大方の被災した機械を網羅した額であります。また、被災した機械については今後さらに修理使用の可能性を探ると同時に、売却処分可能なものは早期に実施するなど、被害額の補填・回収などに努めてまいります。

また、震災以降、東北、関東の被災地での建機レンタル需要は極めて旺盛であること、レンタル料も需給バランス改善から好転していることもあり、下期は相応の収益効果を得られるものと想定されます。しかしながら、一方で全体的な需要規模、需要時期など未だ流動的な側面もあることも事実であるため、通期業績予想につきましては、昨年12月に公表いたしました予想数値を据え置いております。

なお、中間配当につきましては、平成23年6月8日に開催した取締役会で当初計画のとおり、1株につき10円の配当を実施する旨、決議いたしました。



09年10月期第2四半期累計期間のROAは、当該期間に純損失を計上したため、表示していません。



*2007年10月期の期末配当11円のうち2円は増収益による特別配当です。

■ 連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

(単位:百万円)	第46期第2四半期 (2009.11.1~2010.4.30)	第47期第2四半期 (2010.11.1~2011.4.30)
① 売上高	37,142	35,309
売上原価	25,144	24,819
売上総利益	11,998	10,489
販売費及び一般管理費	8,802	8,765
② 営業利益	3,195	1,724
営業外収益	223	153
営業外費用	494	469
③ 経常利益	2,924	1,408
特別利益	291	46
特別損失	173	1,013
税金等調整前四半期純利益	3,042	440
法人税、住民税及び事業税	1,561	451
法人税等調整額	△73	△52
少数株主損益調整前四半期純利益	—	41
少数株主利益又は少数株主損失(△)	38	△7
④ 四半期純利益	1,515	49

Point

東日本大震災の発生により、被災した営業所建物等の
 社有資産の減失・修理で182百万円、レンタル用資産
 (建機等)の減失・修理で525百万円、復旧支援費用で
 17百万円の計724百万円を災害による損失として計上
 しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

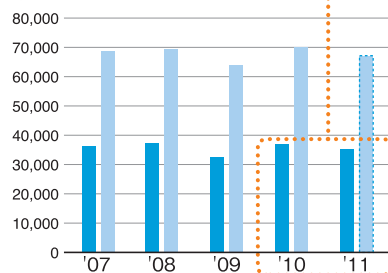
(単位:百万円)	第46期第2四半期 (2009.11.1~2010.4.30)	第47期第2四半期 (2010.11.1~2011.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,575	5,623
投資活動によるキャッシュ・フロー	729	△701
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,346	△3,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	7,654	1,887
現金及び現金同等物の期首残高	14,086	20,751
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	185	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,925	22,638

Point

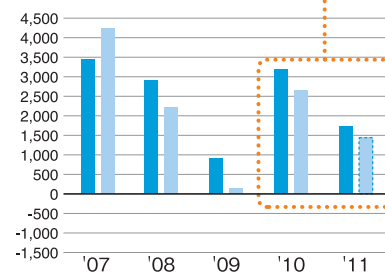
国内建設投資の減少により、建機レンタルも激しい業者
 間競争が各地で広がり、収益確保に苦戦を強いられたこ
 ともあり、売上高は前年同四半期比4.9%減となりました。
 利益面については、震災対応を考慮して中古建機売却
 を一部順延したことによる収益減少の影響から、営業利
 益は同46.0%減、経常利益は同51.8%減でした。

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

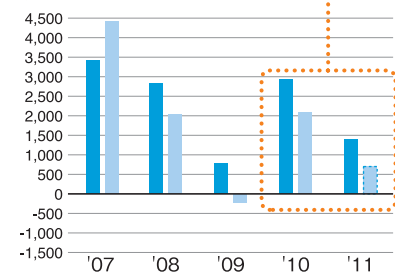
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



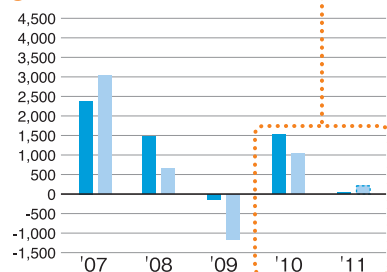
連結貸借対照表

(単位:百万円)	第46期第2四半期末 (2010.4.30)	第47期第2四半期末 (2011.4.30)
(資産の部)		
流動資産	38,832	39,383
固定資産	69,028	72,576
有形固定資産	63,675	66,208
無形固定資産	768	525
投資その他の資産	4,584	5,842
⑤ 資産合計	107,860	111,959
(負債の部)		
流動負債	41,390	40,422
固定負債	28,344	34,457
負債合計	69,735	74,879
(純資産の部)		
株主資本	37,223	36,141
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	16,590	15,509
自己株式	△24	△25
評価・換算差額等	314	376
その他有価証券評価差額金	333	414
為替換算調整勘定	△18	△38
少数株主持分	587	561
⑥ 純資産合計	38,125	37,079
負債純資産合計	107,860	111,959

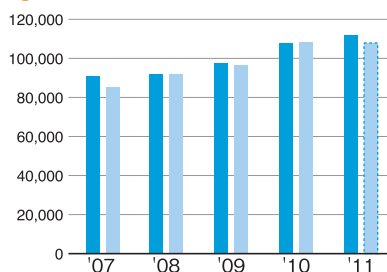
Point

震災の影響を受けた営業所建物やレンタル用資産(建機等)の一部が罹災、この罹災相当額を損失計上したことから前年同期比96.7%減と大きく後退する結果となりました。

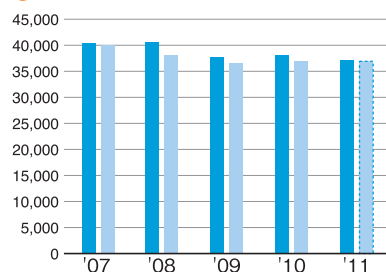
④ 四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



とってもいいモノ 読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で50名様にノベルティグッズをプレゼントいたします。今号はカナモト最新のオリジナル・ノベルティグッズ、「ソーラーLEDライト」です。

名前のとおり、太陽電池プラスLEDライトの最強タッグ、時代の最先端を行く懐中電灯です。

いい過ぎました。が、3連の白色LEDはかなりの明るさ。残念なのは、点灯するのはスイッチを押している間だけな点と、長時間はもたない処。

ボディの色はオリジナルの“カナモトブルー”です。さあ読者諸兄、巻末のアンケートハガキをお送りいただいて、是非々々当ててください。少々暗い日本を、ちょこっとだけ明るくしましょ!



サイズ: 60×35×10mm

ご応募の締め切りは2011年8月12日(当日消印有効)です。なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

3Q 2011.5 サクセスフェア2011 北見(5/14、15)を皮切りにスタート

東日本大震災の影響で延期しておりました「カナモトサクセスフェア2011」は、皆様のご支援を賜り、このたび北海道で再開の運びとなりました。すでに北見、苫小牧、静内、釧路の4カ所で開催、いずれも多くの方々にお越しいただいております。残りは7月16日の函館、9月10日・11日の旭川の2カ所のみ。いつも以上に楽しい企画を用意しております。見るだけ遊ぶだけとおっしゃる皆様も大歓迎です。詳細は当社ホームページ(www.kanamoto.co.jp)に掲載しておりますので、ご覧のうえ、ぜひご来場くださいね!



2011.6

サクセスフェア in 苫小牧を開催

東日本大震災の被災による特別損失の発生ならびに平成23年10月期第2四半期業績予想の修正について発表

第47期(2011年10月期)第2四半期決算発表

【東京】第47期第2四半期決算説明会を実施

決算発表後、機関投資家向け説明会ならびに1on1を実施しました。取締役執行役員経理部長の卯辰伸人から第2四半期の決算概要や通期見通しについて、社長室広報課長の高山雄一からカナモトの海外展開などについてご説明いたしました。



サクセスフェア in 静内を開催

ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット 投資って楽しいねっ!」に出演

2011.7

サクセスフェア in 釧路を開催

サクセスフェア in 函館 7/16(土)



LINE UP

取扱商品のご紹介
情報化施工

今回は、施工現場の品質・生産効率の向上、工期の短縮などに寄与する「情報化施工システム」についてご紹介します。

最近、一般紙でも「情報化施工」という言葉が見られるようになりました。これは国交省が推進している建設技術革新の基幹部分になるもので、総務省が提唱する情報通信技術(Information and Communication Technology)を建設

施工に利用して、生産効率や品質管理の向上を図ろうというものです。難しそうですが、カーナビにも利用される

GPS情報を用いて、施工中のデータと設計データを即時に照合して建機を自動制御するのもその一つ。ダムなど大規模現場では既に運用されています。国交省では工事の調査・設計・施工・維持管理といった各々の工程で得られる情報を共有化

した高度な管理をすることを目指しており、2012年度までに道路・河川土工事などの標準的な工法にする指針を出しています。ここで強みを発揮するのがカナモトの総合力。計測器を専門とするソーキ社と連携して、情報化施工に関する最新機器・建機を提供するとともに、専門スタッフによる運用セミナーの開催、システム採用から運用開始までお手伝いするなど、情報化施工の導入を全面的にサポートしています。



株価チャート (週足)



株価および売買高 (東証分のみ。単位:円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2010年 6月	415	436	392	416	987
7月	416	445	403	428	795
8月	438	445	420	434	610
9月	434	463	429	457	785
10月	459	460	394	417	3,428
11月	418	445	399	443	2,021
12月	440	449	417	437	1,679
2011年 1月	441	444	410	417	926
2月	418	462	416	461	1,059
3月	465	658	459	633	5,390
4月	629	630	563	599	4,477
5月	600	609	517	559	2,254

株主メモ (2011年4月30日現在)

資 本 金	96億9,671万円 (払込済資本金)
発 行 株 数	32,872千株 (発行済株式の総数)
事 業 年 度	11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
公 告 の 掲 載	当社ホームページ、日本経済新聞*

*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。ホームページのURLは下記のとおりです。

<http://www.kanamoto.co.jp> または <http://www.kanamoto.ne.jp>
 なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株 主 名 簿 管 理 人 及 び 特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同 郵 便 物 送 付 先 及 び 電 話 照 会 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

株式に関する各種手続きについて


- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

編集後記

唐突ですが、インターネットのソーシャルネットワークをご存じですか？

これまでインターネットでは匿名性が重視されてきましたが、匿名であるが故に個人攻撃や風評の流布など弊害も多かったため、氏名・身分を明らかにしたコミュニケーションの場、ソーシャルネットワークというのが作られました。mixiやFacebook、そしてツイッターもその一つでしょうか。

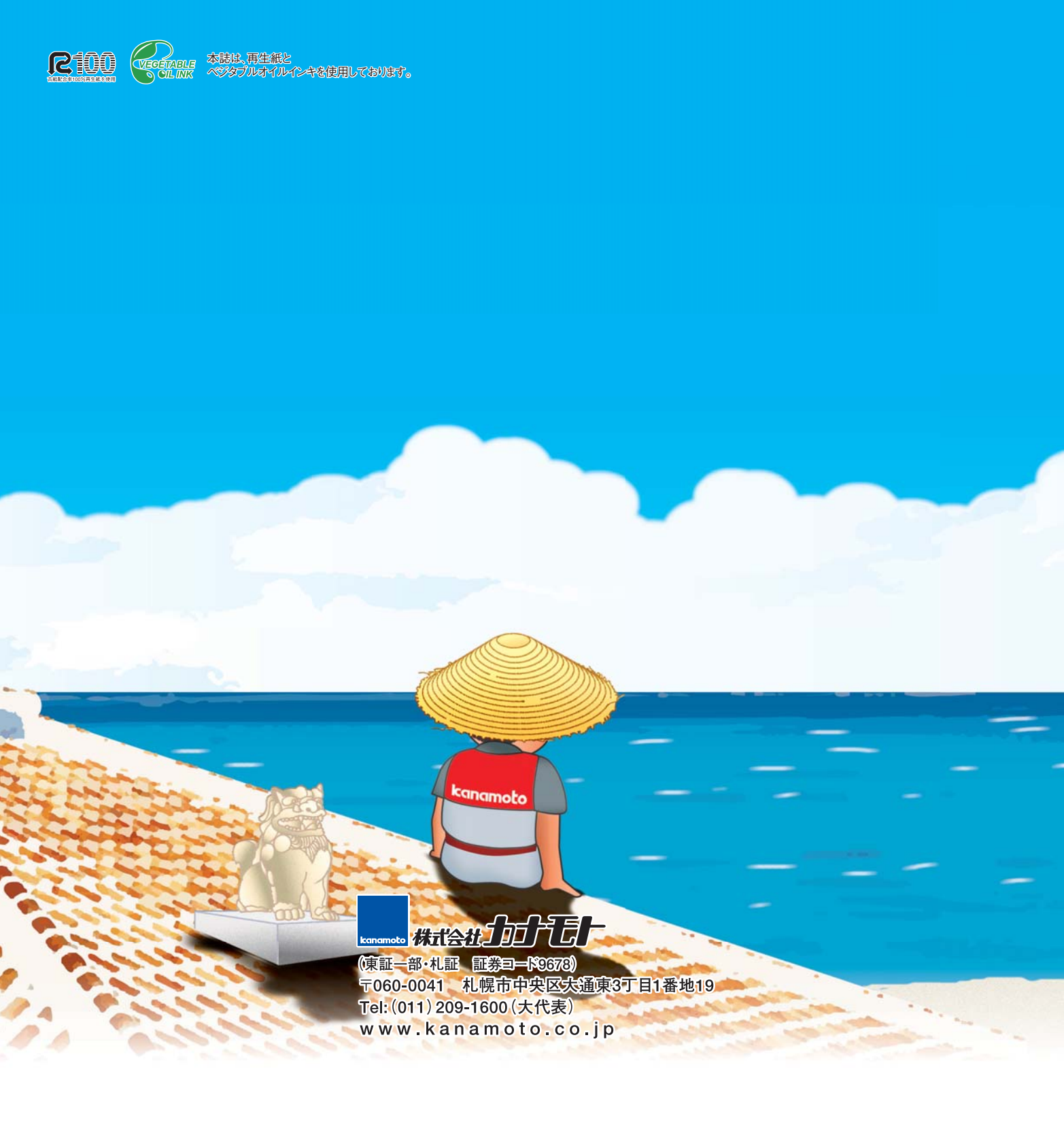
なぜ、ソーシャルネットワークを持ち出したかというと、読者の皆様からいただいたアンケート、上述のソーシャルネットワーク同様、身分を明かにしていただいているものです。3ページに掲載させていただいた皆様だけではなく、書ききれないほど多くの皆様から応援メッセージを頂戴しております。本当にありがとうございます。

不肖編集部は、小誌が、皆様とカナモトを結ぶソーシャルネットワークになればと思います。これからも皆様とカナモトをお伝えできるよう、そして皆様のご要望に少しでも叶う冊子であるよう、鋭意、努力いたします。 

2100
百原製紙が100%再生紙を使用



本誌は、再生紙と
ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **力十**

(東証一部・札証 証券コード9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel:(011) 209-1600(大代表)

www.kanamoto.co.jp